

plantronics®



プラントロニクス® ヘッドセット取扱説明書

日本プラントロニクス株式会社

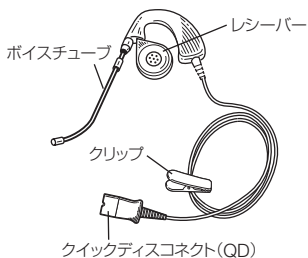
目次

ミラージュ	3
トライスター	3
新スーブラプラス (ノイズキャンセルマイク+ワイドバンド)	4
新スーブラプラスシリーズについて	5
アンコアプロ	6
デュオセット	7
デュオプロ	7
接続方法	8
使用方法	9
レシーバーの位置	9
マイク/NC (ノイズキャンセル) マイクの調整	10
ボイスチューブタイプの調整	11
クリップの取り扱い	12
クイックディスコネクト (QD)	12
日常のお手入れ	13
故障かなと思ったら	14
保証&無償修理について	15
ヘッドセットについて	15
M12・M12E・M22	16
M12・M12E・M22のセットアップ方法	17
M12・M12E・M22の通話方法	18
プラグ・プロン・アダプター	20
交換台、特定台用	20
MX10	21
MX10のセットアップ方法	22
MX10の通話方法 (電話機)	24
MX10の通話方法 (PC)	25
保証書	29
保証とアフターサービス	30
保証規定	31

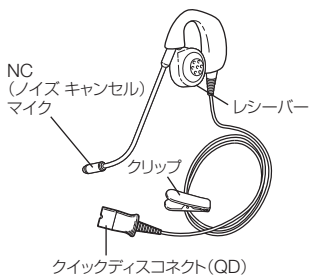
ミラージュ

H41, H41N

• 片耳タイプH41



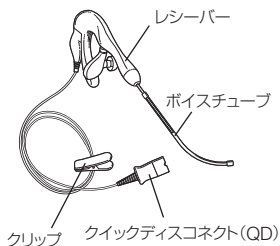
• ノイズキャンセル付き H41N



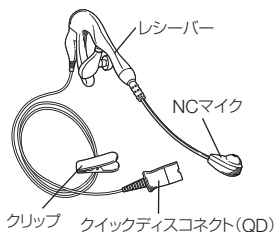
トライスター

H81, H81N

• 片耳タイプH81



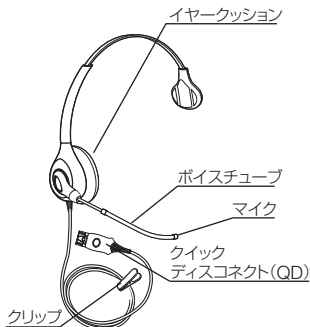
• ノイズキャンセル付き H81N



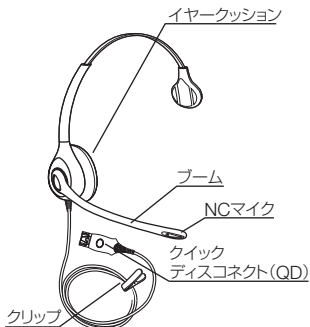
新スープラプラス (ノイズキャンセルマイク+ワイドバンド)

HW251, HW261, HW251N, HW261N

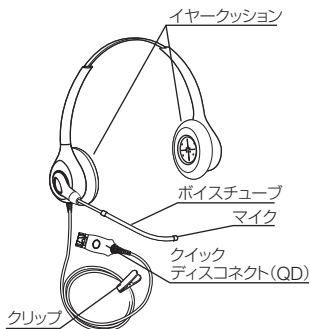
• 片耳タイプHW251



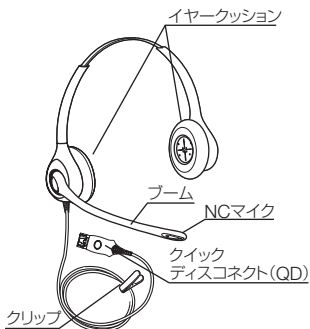
• ノイズキャンセル付きHW251N



• 両耳タイプHW261



• ノイズキャンセル付きHW261N



新スーブラプラスシリーズについて

マイク位置の調整

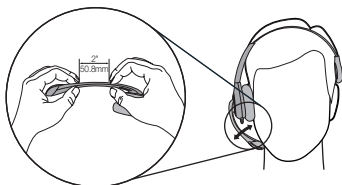
マイクはボイスチューブを回転させると左右の耳どちらでも使用できます。

ボイスチューブを回転させ、マイクを口元の最適な位置に保持してお使いください。

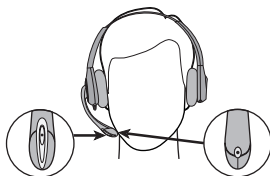
※使用しないときはマイクを上げて音声が入らないようにすることもできます。



マイクは口から指2本分くらい離れた位置で使用してください。



ノイズキャンセルタイプはブームを曲げて調整してください。



マイクの穴は口の方に向けてください。

イヤーパッドの調整

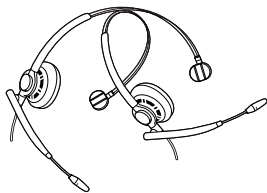
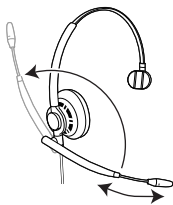
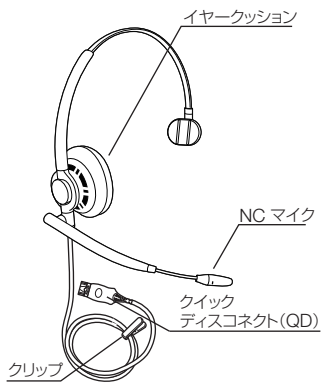
イヤーパッドを両方とも耳に合わせて使用してください。



アンコアプロ

HW291N

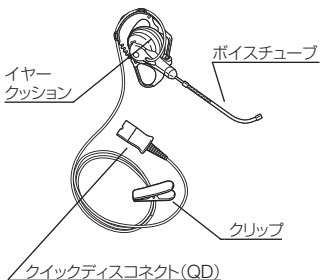
• 片耳タイプHW291N



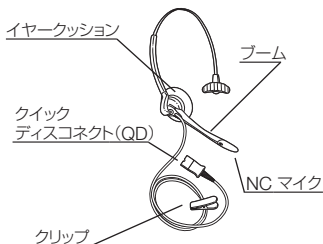
デュオセット

H141, H141N

• 片耳タイプ H141



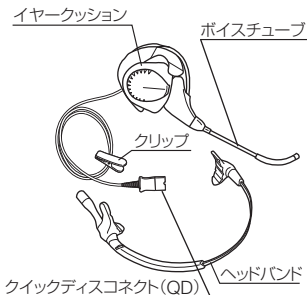
• ノイズキャンセル付き H141N



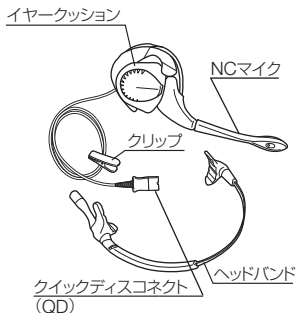
デュオプロ

H171, H171N

• 片耳タイプ H171



• ノイズキャンセル付き H171N

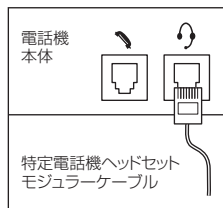


接続方法

「特定電話機用ヘッドセット」は、特定の電話機のために調整されています。このため、ボトム部分（アダプター、オーディオプロセッサー）が不要で、モジュラーケーブルで接続します。電話機によっては、接続できない場合がありますので、事前に接続する電話機を必ずご確認ください。

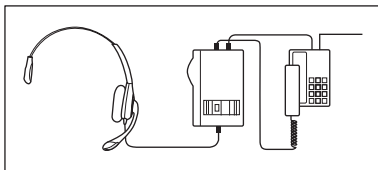
電話機にヘッドセット用ポート（接続端子）がある場合は、

ヘッドセット用のポートにヘッドセットを接続します。電話システム側で設定をしないと通話できない場合がありますので、貴社の担当電話業者にご確認ください。



電話機にヘッドセット用ポート（接続端子）がない場合は、

電話機のハンドセット（送受話器）の電話機側のモジュラージャックを取り外し、電話機側のモジュラージャックにアダプターを接続し、その先にヘッドセットを接続します。



使用方法

電話機のオン／オフフック操作方法は電話機側の機能に依存します。ヘッドセット側で電話機の制御はできません。

発信

1. 電話機をオフフック（受話器を上げる）の状態にしてダイヤルします。
2. 通話終了後、電話機をオンフック（受話器を戻す）の状態にします。

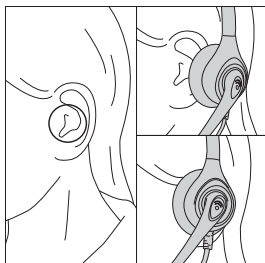
着信

1. 電話機への着信を確認します。
2. 電話機をオフフックの状態にして通話します。
3. 通話終了後、電話機をオンフックの状態にします。

レシーバーの位置

レシーバー（スピーカー）が耳の中心にあたるように装着してください。きちんと装着されていないと、不快感があったり、受話音量が変わることがあります。

片耳タイプのヘッドセットは左右のどちらの耳にも装着することができます。マイクブーム部分は回転して調整できます。ただし、360度は回転しませんので、抵抗がかかるところをポイントにそれ以上無理には絶対に回転させないでください。

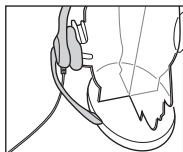
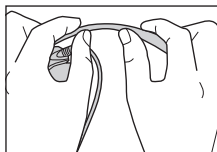
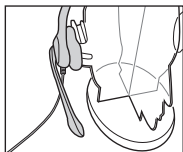


マイク／NC（ノイズキャンセル）マイクの調整

NCマイクは口元から約2cm離してセットしてください。適切なマイク位置により、最適なノイズキャンセル機能が発揮されます。マイクの位置は、ブームを曲げることによって調整できます。図のように、両手の指でブームを緩やかに持って調整してください。

- ブームを、マイクまたはカプセルから約1.5cm以内の位置で曲げたり、ひねったりしないでください。
- ブームを決して必要以上には曲げないでください。
- ブームを何度も無理に曲げないでください。
- 道具を使用してブームを曲げないでください。
- マイクは正面と背面があります。必ず正面が口側へ向くように調整してください。
- 製品によってはマイク部にウインドスクリーン（マイクキャップ）がかぶっていてわかりにくいのでご注意ください。

正しい装着方法

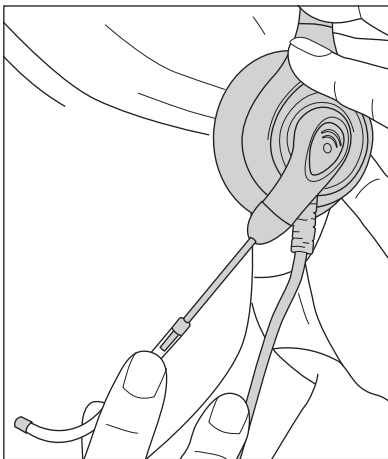


装着したときにマイクブームの先が口の付け根部分から指2本分ほど離れた位置にくるよう、ブーム部分を写真の図のように曲げて調整します。

ボイスチューブタイプの調整

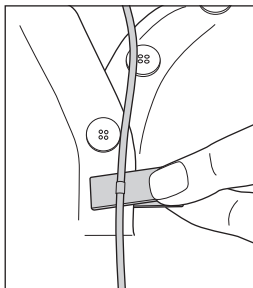
ボイスチューブは2方向に調整できます。

- 長さはプラスチックチューブを出し入れして調節します。位置はボイスチューブの根元の金属部分を回転させて調節します。
- ボイスチューブの先端が口元から約2～3cmの位置にくるように調整します。



クリップの取り扱い

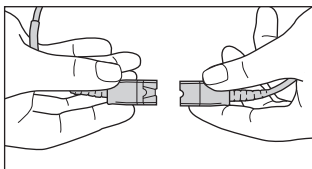
クリップは、ヘッドセット部分までのコードの長さ（「サービスループ」と呼ぶ）を一定に保ち、ズレを防ぎます。クリップを服の胸の部分に留め、クリップとヘッドセット間のコードは適当なゆとりを持たせてください。



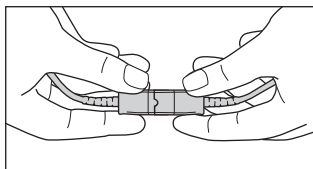
クイックディスコネクト (QD)

QD部分を外して席を離れることができます。

会話中にQDを外した場合はホールド状態（通話保留）になり、再度QD部分をつなげば会話を再開できます。* 保留音は流れません。（無音状態）



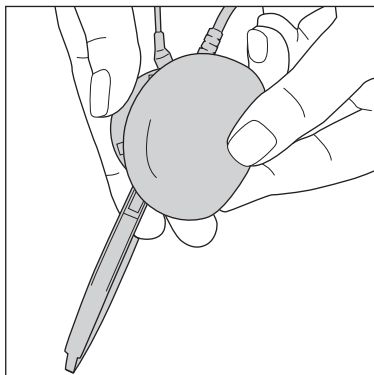
QD部分を外した状態



QD部分を接続した状態

日常のお手入れ

- ヘッドセットは耐久性に優れたプラスチック製です。定期的に、水で湿らせた柔らかい布で表面を拭いてください。アルコール、溶解性の液体、合成洗剤などは使用しないでください。
- イヤークッションやウインドスクリーン（マイクキャップ）も、水で湿らせた柔らかい布で軽く汚れを拭き取ってください。アルコール、溶解性の液体、合成洗剤などは使用しないでください。これらは消耗品です。汚れたり、目詰まりをおこしたり、破損した場合は、付属品（消耗品）として販売店よりお求めください。



故障かなと思ったら

修理サービスを依頼される前に、次の点をご確認ください。

- 動作可能な電話機に接続されていますか？

Case 1：相手側で聞こえない(送話)

- モジュラーコネクタは電話機にしっかり押し込まれていますか？
- マイクが正常な位置にセットされていますか？
- ボイスチューブの管の中に異物が詰まっていたら、速やかに交換してください。(口でボイスチューブを吹いたり、マッチ棒などで管の中を突くことは絶対におやめください。)

Case 2：相手の声が聞こえない(受話)

- スピーカーの位置は正しいですか？
- スピーカー部分がテープなどで塞がれていませんか？

ヘッドバンドが緩くなったら

新スーブラプラスモデル、アンコアプロなど、ヘッドバンドのスチール部分を適度にしばって調節してください。

保証＆無償修理について

- 「保証規定」をよくお読みになり「保証書」を必ず保管してください。
- 保証期間中に無償修理を受ける場合は、製品に「保証書」が添付されている必要があります。
- 保証の詳細については、販売店へお問い合わせください。

保証対象外

- 保証期間が満了している場合。
- メーカーが委託した修理工場以外で行われた修理。
- 製品に改造または規定外修理が行われている場合。
- 消耗品、本体／モジュラーのコネクター類の破損修理。

付属(消耗)品

- ヘッドバンド・イヤークッション・ボイスチューブ
- ウインドスクリーン(マイクキャップ)・クリップ

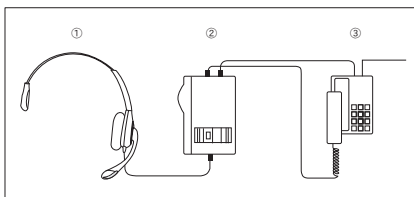
付属品のご購入については、ヘッドセットの販売店へお問い合わせください。

ヘッドセットについて

ヘッドセットは電話機の送受信器の代わりをするものです。

ヘッドセットで電話機や中継台の制御はできません。電話のオン／オフフック、保留や転送は、電話機または中継台から操作する必要があります。

一般的な接続方法は下図をご覧ください。

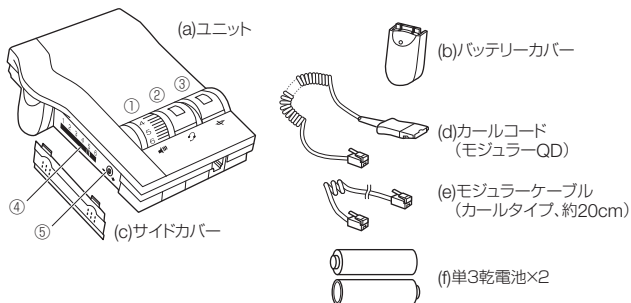


- ① トップ部分(装着部)
- ② ボトム部分(アダプター、オーディオプロセッサー)
- ③ 電話機

M12・M12E・M22

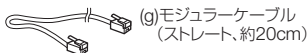
電話用モジュラー、オーディオプロセッサー

付属品



英文ユーザーガイド
取扱説明書&保証書

オプション※



※ オプション品のため、付属していない場合もあります。

機能説明

機能	説明
受話音量	受話音量を調整します
ヘッドセット/ ヘッドセット切替スイッチ	切替スイッチを押して切替えます。 緑→ヘッドセット グレー→ハンドセット(受話器)
ミュート(消音)	ミュートスイッチを押して緑にすると相手側が無音になります。
スライドスイッチ	電話機との親和性をとります。
マイクボリューム	マイク感度を調整して送話音量を調整します。

M12・M12E・M22のセットアップ方法

付属の「英文ユーザーガイド」の挿絵を参照してください。

電話機との接続

1. 電話機から受話器を外します。
2. 外した受話器をユニット(a)の[]に接続します。
3. ユニット(a)の[]と電話機本体(受話器を抜いた部分)を、モジュラーケーブル(e)(カールタイプ、約20cm)で接続します。

ヘッドセットトップ部分との接続

(トップ部分はオーディオプロセッサには付属していません)

1. カールコード(d)のモジュラー側をユニット(a)の前面部に接続します。
2. トップ部分(装着部)のQD部分を、カールコードに接続します。

スライドスイッチ表

(受話器のマイクタイプとモジュラーピンの配列で決まります)

番号	モジュラーピン番号				電源供給	モデル
	1	2	3	4		
1	TX	RX	RX	TX	不要	M12・M22
	TX (-DC)	RX	RX	TX (+DC)	要	M12E
2	TX	GND	RX	VCC	不要	M12・M22
	TX (+DC)	RX	RX	TX (-DC)	不要	M12E
3	TX (-DC)	RX	RX	TX (+DC)	不要	M12・M22
	RX	TX	TX	RX	要	M12E
4	TX (+DC)	RX	RX	TX (-DC)	不要	M12・M22
	TX	TX	RX	RX	要	M12E
5	TX	RX	RX	TX	要	M12・M12E・M22
6	RX	RX	TX	TX	要	M12・M12E
	VCC	RX	GND	TX	不要	M22

※1: 単3乾電池は取り外してください。※2: 単3乾電池または電源アダプター (61329-102) が必要です。使用頻度によりませんが、単3乾電池で約6～10ヶ月使用できます。電池切れはピープ音で警告されます。

M12・M12E・M22の通話方法

ヘッドセット選択機能なしの電話機による通話方法です。

事前確認

1. ヘッドセット／ハンドセット切替スイッチ [🔄] を押して緑 (ヘッドセット) にします。
2. ミュートスイッチ [🔇] を押してグレー (ミュート解除) にします。

発信

1. 受話器を上げ (オフフック)、電話をかけ通話します。
2. 通話終了後、受話器を戻す (オフフック) と電話は切れます。

ユニットの設定

1. ユニット (a) に単3乾電池2個 (f) をセットし、バッテリーカバー (b) を閉めます。
※ 電池の向き (+) にご注意ください。
2. 受話器が通話可能であることを確認します。
 - 2-1. ヘッドセット／ハンドセット切替スイッチ [🔄] を押してグレー (ハンドセット) にします。
 - 2-2. 受話器を上げ (オフフック)、電話をかけ通話します。
※ 受話器での通話ができない場合は、電話機との接続をご確認ください。
3. ヘッドセットで通話し、オーディオプロセッサを調整します。
※ 2の通話中のまま操作します。
 - 3-1. ヘッドセットのトップ部分 (装着部) を頭部に正しく装着します。
※ 「取扱説明書 & 保証書」をご覧ください。
 - 3-2. ヘッドセット／ハンドセット切替スイッチ [🔄] を押して緑 (ヘッドセット) にします。
ミュートスイッチ [🔇] を押してグレー (ミュート解除) にします。
通話が受話器からヘッドセットに移ります。
 - 3-3. 受話器を上げ (オフフック)、電話をかけ通話します。

3-4. スライドスイッチ (4) を調整し、快適に受話・送話できる番号に合わせます。

※ p.23 の「スライドスイッチ表」を参照してください。

3-5. マイクボリューム (5) を、ユニット (a) の底に付いているドライバーを使って調整します。音量は、左 (－) 方向では小さく右 (+) 方向では大きくなります。

3-6. 受話器を電話機に戻し (オンフック) 電話を切ります。
設定は完了です。

※ NC (ノイズキャンセル) マイクヘッドセット使用時に、マイクボリュームを上げすぎると NC 機能効力が低下します。

※ 発信者 (相手側) にブーンという雑音が聞こえる場合は、モジュラーケーブル (g) に代えて再確認してください。電話機によっては、ハンドセット (受話器) での通話ができなくなる場合があります。

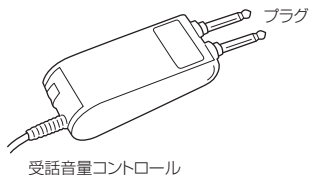
※ 一部の電話機では、不具合が生じることがあります。

着信

1. 電話機への着信 (呼出) を確認します。
2. 受話器を上げ (オフフック) 通話します。
3. 通話終了後、受話器を戻す (オンフック) と電話は切れます。

プラグ・プロン・アダプター

P05H, P05HJ



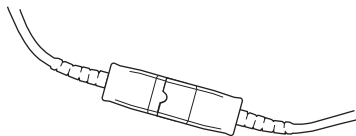
交換台、特定台用

電話機との接続

プラグ部分を台に差し込みます。

ヘッドセット部分(装着部)との接続

QD部分をトップ部分に接続します。

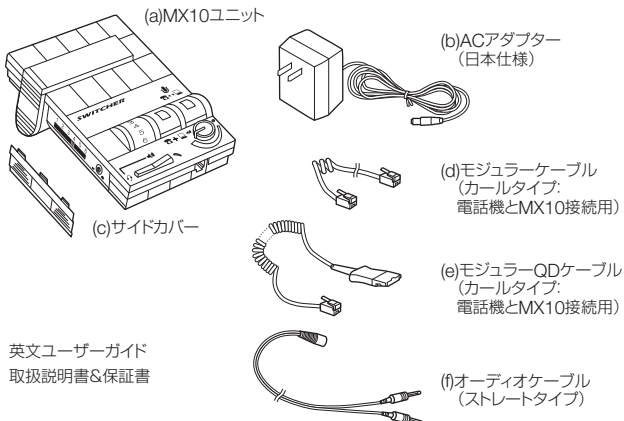


クイックディスコネクト(QD)

MX10

ヘッドセット・スイッチャー

付属品



英文ユーザーガイド
取扱説明書&保証書

機能説明

機能	説明
受話音量	受話音量を調整します。
マイク選択スイッチ (電話／PC)  	ハンドセットのマイクへの入力を選択するスイッチ 電話機選択: スイッチの窓が黒になる PC選択: スイッチの窓が赤になる 通話中に選択すると、ミュート (消音) モードになります。
受話器選択スイッチ (電話／PC) 	ヘッドセットのスピーカーへの出力を選択するスイッチ 電話機選択: スイッチの窓が黒になる PC選択: スイッチの窓が赤になる
電話機接続設定	スライドスイッチで電話機との親和性をとります。
マイク送話レベル 調整	感度調整ボリュームでマイク音量を調整します。マイク音量の 上げ過ぎにご注意ください。

MX10のセットアップ方法

付属の「英文ユーザーガイド」の挿絵を参照してください。

電話機との接続

1. 電話機から受話器のモジュラーケーブルを外します。
2. MX10のモジュラーケーブル(d)を受話器用モジュラーに接続します。
3. MX10のオーディオケーブルユニット(f)をPCのオーディオボードと接続します。

ユニットの設定

1. MX10とACアダプター (b) を接続します。
2. ACアダプター (b) をコンセントに差し込みます。
3. MX10とヘッドセット(トップ部分)を接続します。
4. ヘッドセット／ハンドセット切替スイッチ (シーソーレバースイッチ) を受話器側  にセットします。
5. 受話器選択スイッチ  +  (左側スイッチ) で電話機を選択します。電話機選択時はスイッチの窓が黒に、PC選択時はスイッチの窓が赤になります。
6. マイク選択スイッチ  (右側スイッチ) で電話機を選択します。電話機選択時はスイッチの窓が黒に、PC選択時はスイッチの窓が赤になります。
7. 受話器を上げ(オフフック)ほかの電話機と通話確認をします。
8. ヘッドセットのトップ部分(装着部)を頭部に正しく装着します。
9. ヘッドセット／ハンドセット切替スイッチをヘッドセット側  にセットします。
10. ヘッドセットで通話を確認します。通話できないとき、MX10の電話機接続設定スライドスイッチ(左側面)を通話できるポジションに合わせます。
11. マイク送話レベルを電話機接続設定スライドスイッチ(左側面)で調整します。

注意: NC (ノイズキャンセル) マイクヘッドセット使用時に、送話レベルを上げすぎるとNC機能効力が低下します。

12. MX10のオーディオケーブルユニット(f)をPCオーディオ(マイク、スピーカー)と接続します。PCのオーディオ設定方法は、お持ちのPCの取扱説明書を参照してください。
13. 受話器を電話機に戻し(オンフック)電話を切ります。設定は完了です。
- ※ 一部の電話機では、不具合が生じることがあります。

スライドスイッチ表

番号	電話	モジュラーピン番号			
	マイクモード	1	2	3	4
1	カーボン	TX	RX	RX	TX
2	AT&A MERIN	TX	GND	RX	VCC
3	コンデンサ	TX (−DC)	RX	RX	TX (+DC)
4	コンデンサ	TX (+DC)	RX	RX	TX (−DC)
5	コンデンサ	TX	RX	RX	TX
6	SIEMENS	RX	RX	TX	TX

MX10の通話方法（電話機）

ヘッドセット選択機能なしの電話機による通話方法です。

事前確認

1. ヘッドセット／ハンドセット切替スイッチをヘッドセット側  にセットします。
2. 受話器選択スイッチ  +  で電話機  を選択します。（スイッチの窓が黒になる）
3. マイク選択スイッチ  で電話機  を選択します。（スイッチの窓が黒になる）

発信

1. 受話器を上げ（オフフック）、電話をかけ通話します。
2. 通話終了後、受話器を戻す（オフフック）と電話は切れます。

着信

1. 電話機への着信（呼出）を確認します。
2. 受話器を上げ（オフフック）通話します。
3. 通話終了後、受話器を戻す（オンフック）と電話は切れます。

発信者の音声をPCへ入力

通話中に発信者の音声をPCへ入力することができます。

1. PCのアプリケーションを起動します。
2. 受話器選択スイッチ  +  で電話機  を選択します。（スイッチの窓が黒になる）
3. マイク選択スイッチ  で電話機  を選択します。（スイッチの窓が黒になる）
4. 終了するときはPCのアプリケーションを閉めます。

MX10の通話方法(PC)

インターネットやネットワークを使った通話方法です。

事前確認

1. ヘッドセット／ハンドセット切替スイッチをヘッドセット側  にセットします。
2. 受話器選択スイッチ  +  でPC  を選択します。(スイッチの窓が赤になる)
3. マイク選択スイッチ  でPC  を選択します。(スイッチの窓が赤になる)
※ 発信／着信はご利用のサービス内容に依存します。

ミュート(消音)

1. マイク選択スイッチ  +  でPC  を選択します。(スイッチの窓が赤になる)
2. 解除するときはマイク選択スイッチ  +  をもう一度押します。

オーディオブレイ

通話中に回線を保留にして発信者へPCオーディオを再生することができます。

1. 受話器選択スイッチ  +  でPC  を選択します。(スイッチの窓が赤になる)
2. マイク選択スイッチ  でPC  を選択します。(スイッチの窓が赤になる)
3. PCオーディオファイルを再生します。
4. 解除するときはマイク選択スイッチ  +  をもう一度押して再生を停止します。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



警告

1. 指定以外の電圧で使用しない

この機器のACアダプターは交流 100V 専用です。交流 100V 以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

2. 放熱に注意

ACアダプターの放熱を妨げない

- ・風通しの悪い、せまいところに押し込まない。
- ・横倒し、あおむけ、さかさまに置かない。
- ・布をかけたり、じゅうたん・ふとんの上に置かない。放熱が悪くなると内部が異常高温となり、火災の原因となります。

3. 電池端子をショートさせない

電池端子を金属などでショート（短路）させないでください。火災・感電・破損・発熱・発火・故障の原因となります。

4. お風呂やシャワー室で使用しない

お風呂・シャワー室などの湿度の高い場所や水はねのある場所で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

5. 雷が鳴り始めたら

ACアダプターに触れないでください。感電の危険があります。

6. 機器の内部に水を入れない

花瓶やコップなどの水の入った容器を機器の上に置かないでください。内部に水が入ったときはすぐに機器の使用を中止してください。火災・感電の原因となります。

7. 異常が起きたときは

煙が出る・変なにおいや音がするなどの異常が起きたときはすぐに機器の使用を中止してください。火災・感電の原因となります。

8. 指定以外のACアダプターを使用しない

機器に電源を供給するときは、付属のACアダプターまたは指定のACアダプターを使用してください。指定以外のACアダプターを使用すると、火災・感電・破損・発熱・発火・故障の原因となります。

9. 電源コードの取り扱い

電源コードを無理に曲げる・ねじる・引っ張るなどして傷つけないでください。また、電源コードを加熱したり加工しないでください。

ACアダプターを電源に接続するときは下記に十分注意してください。

- ・電源コードの上に、機器本体や重いものを置かない。
- ・カーペットの下などに電源コードを入れない。
- ・電源コードを釘などで固定しない。
- ・足を引っかけるおそれのある場所に配線しない。コードが傷つき火災・感電の原因となります。

10. 機器の内部に異物を入れない

内部に異物が入ったときはすぐに機器の使用を中止してください。火災・感電の原因となります。

11. 電池は充電しない

電池を充電しないでください。電池の破壊・液漏れによる火災・けがの原因となります。

12. ケースを開けない

ACアダプターや機器の裏カバー・ケースなどを開けたり改造しないでください。火災・感電の原因となります。

13. 落下した機器を使用しない

落したり、カバーやケースが破損した状態のACアダプター・機器を使用しないでください。火災・感電の原因となります。



1. 湿気やほこりのある場所に機器を置かない
油煙や湯気のあたる調理台や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所で使用しないでください。
2. 機器に乗らない
お子様が機器に乗らないよう注意してください。機器の破損によるけがの原因となります。
3. 指定以外のケーブル・コードを使用しない
機器を接続するときは電源をOFFにし、それぞれの機器に付属の取扱説明書をよく読み説明にしたがって接続してください。また、接続には指定のケーブル・コードを使用してください。指定以外のケーブル・コードの使用や延長コードの使用は、発熱によるやけどの原因となります。

保証規定

1. 本保証書に記載の保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店、当社代理店、または当社サービスセンターにて無償で修理または同等の製品と交換いたします。
2. 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は、お買い上げの販売店、当社代理店、または当社サービスセンターへご依頼ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
3. 次のような場合は、保証期間内でも有償修理となります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - お買い上げ後の取り付け場所の・移動・落下・水没などによる故障および損傷の場合。
 - 火災・地震・風水害およびその他天災・地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障および損傷の場合。
 - 製造番号の改変および取り外した製品
 - 消耗品（電池・イヤークッション・ウインドスクリーンなど）の交換。
4. 本保証書は再発行いたしません。

保証とアフターサービス

1. 保証書について

- この製品には保証書（本紙）が添付されています。
保証書は必ずモデル・お買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめの
上、販売店からお受け取りいただき内容をよくお読みの後大切に保管
してください。
- この製品の保証期間はお買い上げ日より2年間です。
電池や消耗品の交換、ならびに落下、水没など不適切なご使用による故
障の場合は保証期間内でも修理は有償となります。詳しくは無償修理
規定をお読みください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店、当社代理店、または当社サービスセンターにお問い
合わせください。

3. 修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」を再度確認いただき、なお異常があるときは製品の
使用を中止してお買い上げの販売店、当社代理店、または当社サービスセ
ンターにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した損害の補償につい
ては、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

※製品を発送いただく際の送料はお客様の負担とさせていただきます。ま
た、修理期間中の代用品の対応はできかねます。あらかじめご了承くだ
さい。

4. アフターサービスについて

- 保証期間中は保証規定にしたがって、お買い上げの販売店、当社代理
店、または当社サービスセンターが修理または同等の製品と交換いた
します。
- 保証期間が経過したときは、ご希望により有償で修理いたします。

日本ブラントロニクス株式会社

〒100-0013

東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル8階

TEL: 03-3509-6400 FAX: 03-3509-6406

E-mail: japansales@plantronics.com

ブラントロニクス・サービスセンター

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-22-7

☎ 0422-55-8812

(土・日・祝祭日除く 月～金 9:00～12:00 13:00～17:00)

※電話番号はお掛け間違いの無いよう、ご確認の上おかけください。